

早月加積地区の主な提言等と回答要旨

23年度春に開催した「市長と語る会」		
提言等の項目	皆さまからいただいた主な提言等	その際の回答要旨
集中豪雨等による浸水、冠水対策	新幹線整備工事や国道8号線の4車線化、企業立地等により、用地から流れる大量の雨水が農業用水に流れ込む心配がある。早月川等に誘導する対策を。	国道については、国交省で雨水対策工事を梅雨前に完成させると聞いています。県道については、用水の狭い箇所を改善を県へお願いしています。栃山用水や中村用水については、県や土地改良区等と検討しているところです。新幹線整備工事についても、早月川へ流すようお願いしています。企業敷地については、切り売りの場合でも排水対策をしっかりと取るようお願いしており、それ以外の大型の企業誘致についても、市として専用の排水路や融水池等の対策を考えています。
農業用水路・排水路	主要農業用水路、排水路は、北陸本線の横断箇所幅が狭くなっており、冠水の原因と考えられる。新幹線開通前にJRや県と協議し、拡幅してほしい。	農業用水は土地改良区管理の施設ですので、土地改良区と対策を検討したいと思います。
大掛で建設中のリサイクル施設	大掛でのリサイクル施設について、施設内の雨水の行方が不明で、土地改良区へ排水計画の話がないにもかかわらず工事が進められている。市の関係課と業者、関係者等の協議の場を設けてほしい。	地元や土地改良区の同意がない中で建設工事を始めないよう、業者に何度もお願いしてきましたが、確認申請がなされ建設が進んでいるのが現状です。業者に対しては、排水問題について関係者と協議し、早く解決するよう指導しているところです。
早月川左岸の整備	雑木の伐採等、市から県へさらに働きかけを。不法投棄に関しても、巡回パトロールを。	2月に県で取組みをされたところです。引き続き、県へお願いをしていきたいと思っています。
財政状況	いろいろな財政指標を見ても、危機的状況だとは思えない。財政状況の公表の際には、数値や他市町村との比較等を提示して、市民にわかりやすい説明を。	実質公債費比率という新たな指標が設けられ、平成21年度の県平均が18.3%に対し、滑川市は19.1%でした。財政健全化判断比率については、12月の市広報で公表したところです。これからも市民の皆さんにわかりやすくお伝えできるよう、工夫していきたいと思っています。
上水道の加入	三ヶ町内で上水道未加入の家庭が1軒ある。県道から約80m入り込んだ一軒屋だが、上下水道課に問い合わせたところ、加入に際しては個人施工と言われたよう。本当にそうなのか。	個別の案件で詳細がわかりませんので、確認させていただきます。
事業展開	市の予算についてはソフト事業が重点でハード事業が少ないが、企業誘致やスマートICの設置等、何か夢のある話が聞きたい。例えば、上市町と協力して馬場島への道路を拡幅するとか、深層水の農業利用を支援するとか。	ご意見については今後参考にさせていただき、いろいろな事業展開をしたいと思っています。またいろいろなアイデアをお聞かせください。
「あいらぶ湯」の営業時間	夜間に「あいらぶ湯」を利用すると数人ということが多く、22時まで営業していても、人件費や光熱水費の無駄だと思う。1時間でも繰り上げてはどうか。	職員からも同様の提言がなされているところです。検討したいと思います。
地域防災計画	沿岸の市町村は地域防災計画の見直しに入っているものと思う。市の広報を通じて、津波情報等をわかりやすく市民へ伝えてほしい。また、大津波警報は最低でも3mの計画が必要では。また、それをハザードマップに反映しては。	地域防災計画の見直しも必要と考えています。検討させていただきます。